




施工に際しては、必ずこの施工説明書に従い正しく施工してください。
この施工説明書は、お客様に保管頂くよう依頼してください。

FP553-1 22.04

安全のために必ずお守りください

※ここでは施工に際して守って頂かないと人身事故や家財の損害に結び付く注意事項を挙げています。施工前にこの項目をよくお読みいただき、正しく施工してください。

用語および記号の説明

- 警告** …… 取扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。
- 注意** …… 取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性、および物的損害の発生が生じることが想定されます。
-  …… 「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください）
-  …… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です）
-  …… 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です）

⚠ 警告

洗面器等を壁に固定する場合、固定位置には壁裏の補強をしてください。
※取付物の落下、転倒によりケガをするおそれがあります。

⚠ 注意

かたい物を落とさないでください。
※破損や故障、漏水の原因になります。



強い力や衝撃を与えないでください。
※破損や故障、漏水の原因になります。



熱湯を注がないでください。
※破損や故障、漏水の原因になります。



施工前の確認

1. 配管工事の確認

- 給水給湯管および排水管が所定の位置に指定の給排水管仕様で取出してあることを確認してください。

2. 床面の確認

- 設置する床は水平で著しい凹凸や不陸が無いことを確認してください。
- 床面は強固でぐらつき、たわみが生じないことを確認してください。
取付精度（納まり）が悪くなるおそれがあります。

注意		給水は上水道に接続してください。 (皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。また器具の故障に繋がります。)
		湯水を逆に配管しないでください。 (火傷やケガをするおそれがあります。)

3. 壁面工事の確認

〔壁材、下地材の確認〕

- 製品の取付可能な壁面は下図に示す乾式壁3種の壁面のみです。

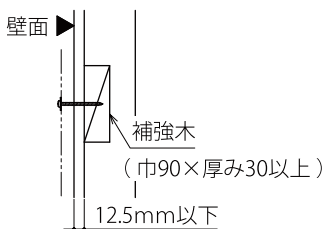
〔補強木、仕上材の厚みの確認〕

- 器具の取付けには、乾式壁の場合、壁面に補強木（幅90mm×厚み30mm以上）が指定の位置に必要です。あらかじめ建築施工の際に補強木を設けてください。
直接、壁の仕上材に器具の取付けはしないでください。
- 補強木の柱や、間柱への取付部材（ねじ等）は、器具の固定強度（乾式壁の図を参照）と同等以上になるように種類、数を選定してください。
- 補強木手前の仕上材は取付ねじを補強木に届かせるため、必ずトータルの厚みで12.5mm以下のものを用いてください。
- 湿式壁の場合は、市販のアンカープラグ等を使用し、施工してください。

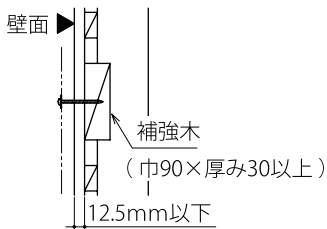
〔壁の不陸について〕

- 器具の取付壁面の不陸は5mm/2m以下であることを確認してください。

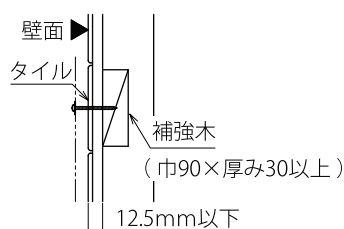
●ボード類直張り



●ボード類胴縁取付け

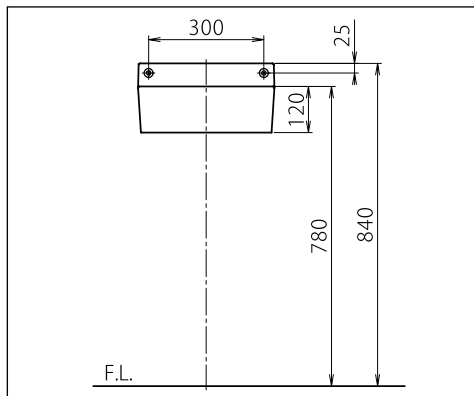


●タイル仕上げ



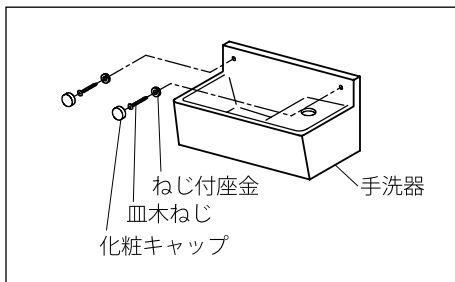
● L353 施工方法

取付参考図

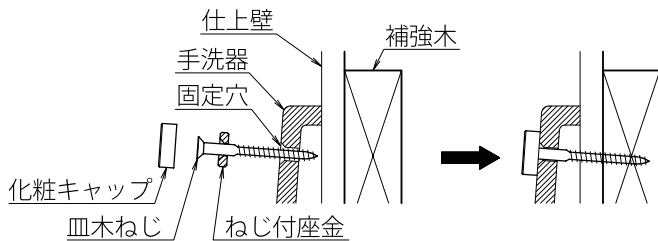


手洗器取付金具

皿木ねじ (φ5.8×63)	2本
ねじ付座金	2個
化粧キャップ	2個

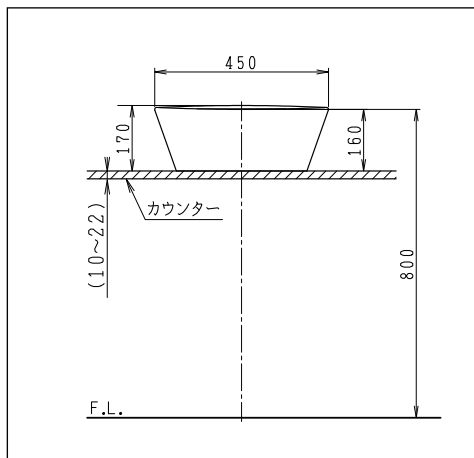


- 1) 皿木ねじを、ねじ付座金に通します。
※ねじ付座金の座ぐりと皿木ねじの座が合うように向きを合わせてください。
- 2) 手洗器を取付位置に合わせ、皿木ねじで固定します。
※皿木ねじは、手洗器の取付面に対して垂直にねじ込んでください。
- 3) 化粧キャップを、ねじ付座金にねじ込みます。



● L455 施工方法 (カウンターへの取付け)

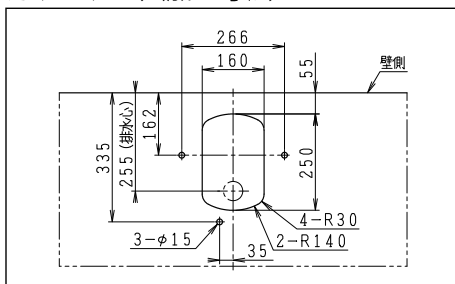
取付参考図

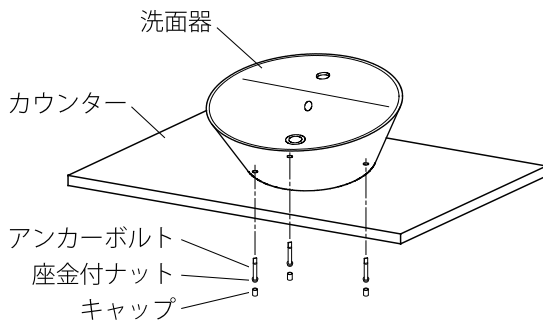


洗面器取付金具

アンカーボルト	3個
座金付ナット	3個
キャップ	3個
スポンジパッキン	1本

カウンター穴加工寸法





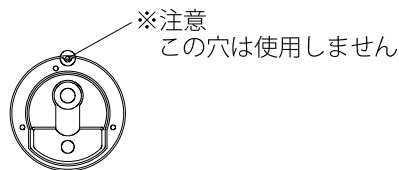
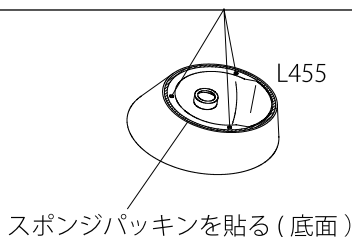
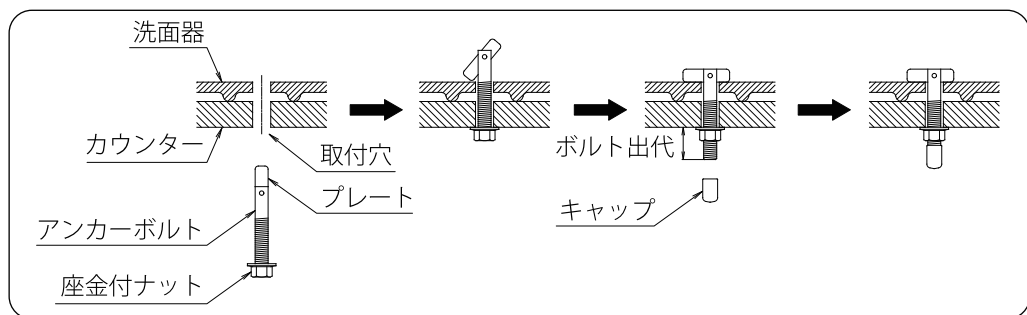
1) カウンターに給排水用の穴と洗面器固定用の穴(φ15mm:3ヶ所)を加工します。

※「カウンター穴加工寸法」を参照

※カウンターの厚さは、付属のアンカーボルトでは 22mmまで対応できます。

カウンターの厚さが 22mm を超える場合は、カウンターにφ30mmの座ぐり加工する、またはアンカーボルトの長い物を調達して洗面器を固定してください。

※付属のアンカーボルトは、IT-1070 (サンコーテクノ(株)製ITハンガー)です。



2) 洗面器のカウンターに接する部分(底面の外縁)に、防水用のスポンジパッキンを隙間のないように貼付けます。

3) 洗面器をカウンターの取付位置に置き、双方の取付穴の位置をあわせませす。

4) 座金付ナットにアンカーボルトを 2 山程度ねじ込みます。

5) アンカーボルトのプレートを立て、取付穴に差込みます。

6) アンカーボルトのプレートを倒し、ボルトを引き、抜けないことを確認します。

※ボルトの出代が約 25mm であれば正常です(カウンターの厚さ 20mmの場合)

7) 座金付ナットを締付け、洗面器を固定します。

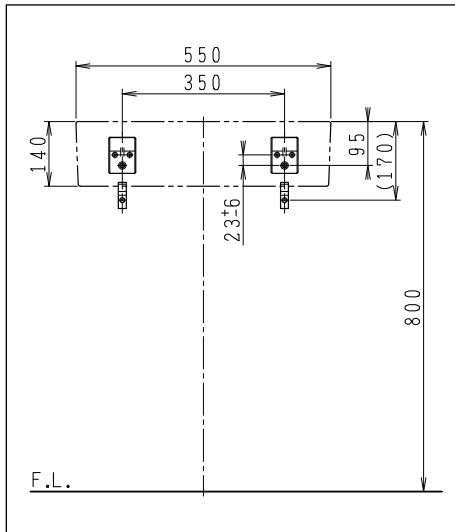
8) ねじにキャップを取付けます。

● L553・L520 施工方法 (バックハンガーによる取付け)

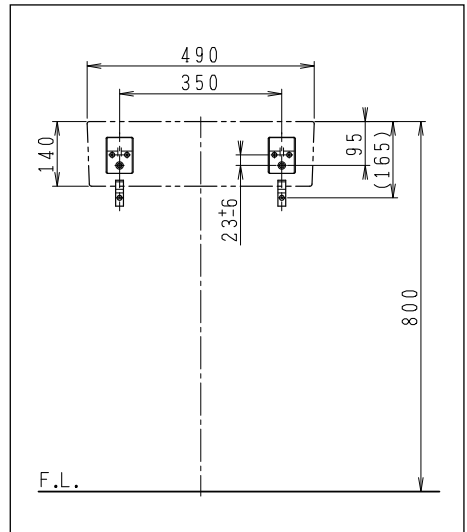
洗面器取付金具

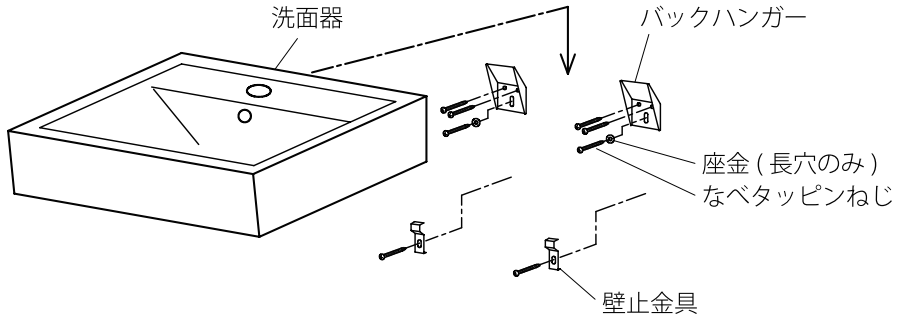
バックハンガー本体	2個
座金	2個
なべタッピンねじ (φ6×50)	6本
壁止金具本体	2個
なべタッピンねじ (φ6×50)	2本

L553 取付参考図



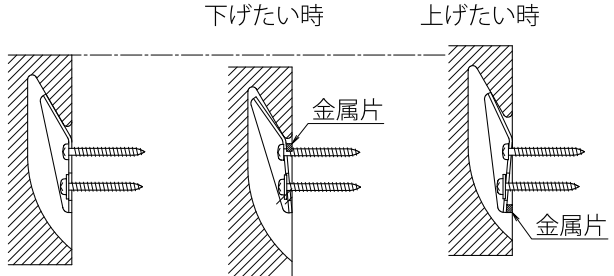
L520 取付参考図





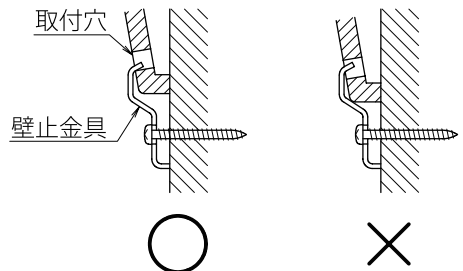
- 1) 壁面の洗面器取付位置に左右の高さが水平になるようにバックハンガーを取付けます。
 - ①まず長穴のみで仮固定し、洗面器を掛けて洗面器が水平に取付くようにバックハンガーの位置を調整します。
 - ②バックハンガーの位置を調整したのち、残り 2ヶ所をなベタツピンねじで締めて本固定します。
- 2) バックハンガーに洗面器を掛けます。

※洗面器が水平に取付かない場合は、バックハンガーと壁の間にブリキ板等の金属片をはさんで傾きを調整してください。



- 3) 壁止金具を取付け、洗面器を固定します。
 - ①壁止金具の湾曲部先端を洗面器の取付穴の下端にあてがい、なベタツピンねじで固定します。

※壁止金具は洗面器取付穴の下端を押さえるように取付けてください。そうすることにより、洗面器を引き下げる力が働きます。

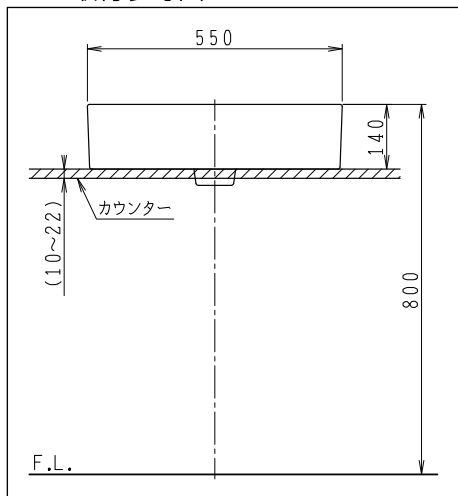


● L553・L520 施工方法 (カウンターへの取付け)

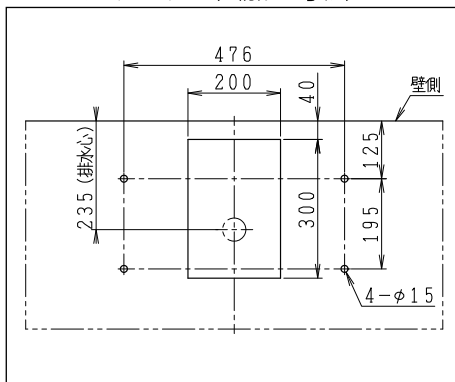
洗面器取付金具

アンカーボルト	4 個
座金付ナット	4 個
キャップ	4 個
スポンジパッキン	1 組

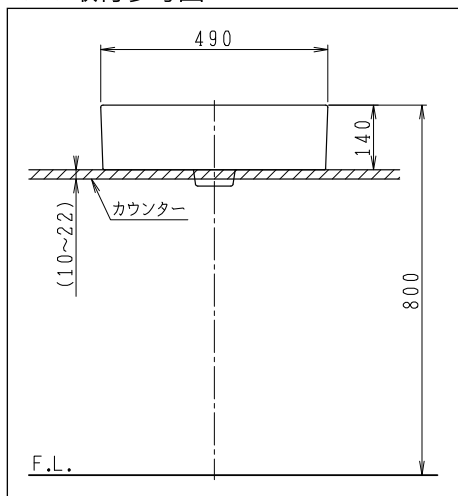
L553 取付参考図



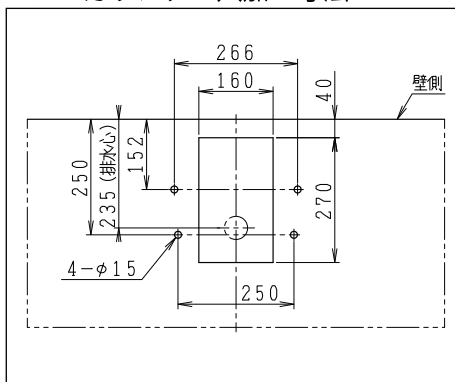
L553 カウンター穴加工寸法

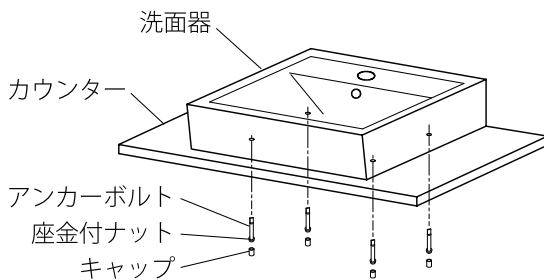


L520 取付参考図



L520 カウンター穴加工寸法





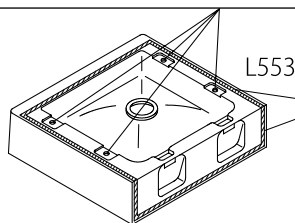
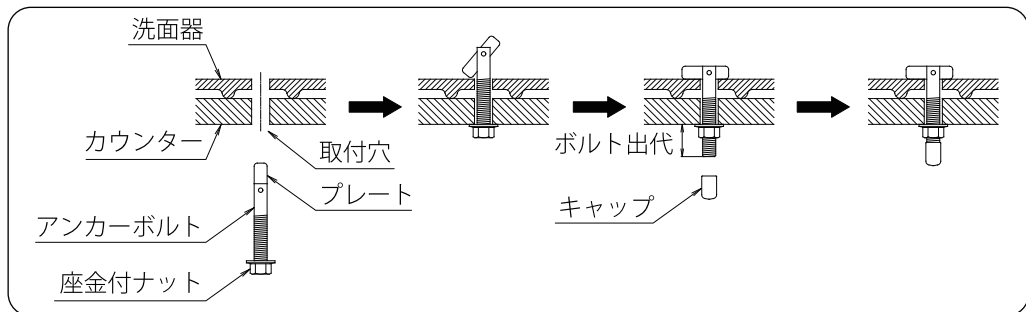
1) カウンターに給排水用の穴と洗面器固定用の穴 (φ15mm: 4ヶ所) を加工します。

※「カウンター穴加工寸法」を参照

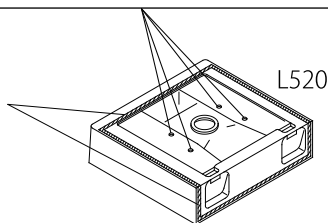
※カウンターの厚さは、付属のアンカーボルトでは 22mm まで対応できます。

カウンターの厚さが 22mm を超える場合は、カウンターに φ30mm の座ぐり加工をする、またはアンカーボルトの長い物を調達して洗面器を固定してください。

※付属のアンカーボルトは、IT-1070 (サンコーテクノ(株)製 ITハンガー) です。



スポンジパッキンを貼る
(底面と背面)



2) 洗面器のカウンターと壁に接する部分 (底面と背面の外縁) に、防水用のスポンジパッキンを隙間のないように貼付けます。

3) 洗面器をカウンターの取付位置に置き、双方の取付穴の位置をあわせませす。

4) 座金付ナットにアンカーボルトを 2 山程度ねじ込みます。

5) アンカーボルトのプレートを立て、取付穴に差込みます。

6) アンカーボルトのプレートを倒し、ボルトを引き、抜けないことを確認します。

※ボルトの出代が約 25mm であれば正常です (カウンターの厚さ 20mm の場合)

7) 座金付ナットを締付け、洗面器を固定します。

8) ねじにキャップを取付けます。

ジャニス工業株式会社